

2009年4月28日
株式会社朝日ネット

Press Release

東洋大学に 教育機関向けポートフォリオシステム「manaバ フォリオ」を導入

株式会社朝日ネット(東証一部、本社:東京都中央区、代表取締役社長:山本公哉)は、東洋大学に、教育機関向けポートフォリオシステム「manaバ フォリオ」を導入いたしました。

東洋大学文学部教育学科では、教師としての実践的指導力と高度の専門性を兼ね備えた小学校教員を養成することを目標とし、1年次から毎年教育実習に行き学校現場体験を積む「往還型教育実習」を実践しています。往還型教育実習では従来の学生と大学教員による実習指導に限らず、小学校の実習指導教員や教育委員会を加えた様々な関係者が学生の実習をサポートします。その実習を支援するシステムとして朝日ネットのポートフォリオシステム「manaバ フォリオ」が採用されました。



* ポートフォリオとは？

ポートフォリオとは、個人の学習成果や記録、評価をファイルしたものです。学生がポートフォリオを見直すことで自身の学習を振り返ったり、教員・スタッフがポートフォリオを参照しながら学生を指導する教育方法が近年注目を集めています。

教育機関向けポートフォリオシステム「manaba folio(manaバ フォリオ)」

manaba folio(manaバ フォリオ)は、学習の成果をポートフォリオに貯め、学生自身が振り返り、学生同士で評価しあうことを実現する全く新しいシステムです。

「manaba folio(manaバ フォリオ)」の詳細はこちらをご覧ください。

<http://manaba.jp/about-folio.html>

「manaba folio(マナバ フォリオ)」導入の背景と目的

東洋大学の「往還型教育実習システム」とは：

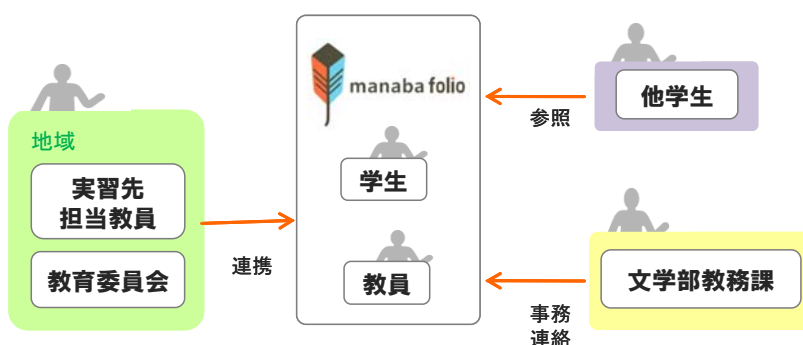
東洋大学文学部教育学科では、学校を取り巻く諸問題や急激に変化する社会的な課題に対して、柔軟かつ創造的に応えることのできる高い資質と能力を持つ教員の養成を目指しています。その中で2008年の4月より、1年次から毎年教育実習を行う「往還型教育実習」のカリキュラムを採用しました。学生は初年度に教育実習に行き経験したことを大学の授業や研究でフィードバックし、また大学で学んだことを次年度の教育実習で実践するというサイクルの中で学習していきます。大学と教育現場を行き来する中で、専門知識を身につけると同時に自身の教師に対する適正や深い自己理解を形成していきます。

manaba folio によって実現される実習の遠隔サポート：

東洋大学文学部教育学科では学生の実習をトータルサポートするツールとして「マナバフォリオ」を採用しました。

実習を行う一連の流れの中で、地域の教育委員会、実習先小学校や大学教員といった関係者が、実習先小学校の打診や受け入れなどの調整を重ねていきます。大学の教務課は実習要綱等についてマナバフォリオを通じて学生へ連絡をしています。そして学生が実習を開始した後は、マナバフォリオを使って実習内容を報告し、それを受け、大学の担当教員だけでなく、小学校の指導教員も報告内容について相談にのりアドバイスを行っていきます。これにより、学生は今まで授業時間など対面報告に限られていた教員への実習の相談をいつでも行えるようになり、教員も実習中の学生の状況を細かく把握することが可能になりました。

また、教育実習に行く学生同士がマナバフォリオを通じて知り合い、疑問点や成功例など実習にまつわるテーマについて自分たちの実習の体験談などを交えながらディスカッションを行っています。



東洋大学 概要

学校名: 東洋大学

URL: <http://www.toyo.ac.jp/>

設立: 明治 20(1887)年

学長: 松尾 友矩

所在地: 東京都文京区白山 5-28-20

学生数: 28,674 人(2008 年 7 月 10 日現在)

特色:

東洋大学は、明治 20 年に哲学を教育理念に据えた「私立哲学館」として、井上円了博士により創設された、120 年を超える伝統を持つ総合大学です。「諸学の基礎 は哲学にあり」とする建学の精神にも象徴される創業者・井上円了の教えは、主体的に生きるための実践的哲学であり、東洋大学は、総合大学ならではの利点を活かし変化の激しい時代に真の力を発揮できる「生き方に哲学を持った」人材を育成していきます。

一方で、現在の東洋大学は大学院工学研究科・生命科学研究科を中心とする最先端のバイオサイエンスとナノテクノロジーの融合に関わる研究プロジェクトが、世界最高水準の研究拠点づくりを目指す「21 世紀 COE プログラム」の一つに採択されるなど、先端的研究を担う大学でもあります。平成 19 年 4 月からは学際・融合科学研究科バイオ・ナノサイエンス融合専攻を開設するなど、社会のニーズに応えた高度職業人の養成にも力を入れています。

